

〈議事内容〉

1. 「市民活動センターまつり」(10/15)について

参加企画書に基づき説明し意識合わせを行った。(大橋)

- (1) 当日のスタッフは、事務局メンバーに加え、数名の会員に声を掛けお手伝いいただく。特に、ネイチャーゲームのサポートを兼ねてお手伝いいただく。⇒声え掛け(中村)
- (2) 掲出物は、前回の公民館まつりで使ったものを活用する。⇒保管・確認(平澤)
- (3) 一般の方への「入会案内」「会紹介小冊子」は、印刷済み(大橋)
- (4) ネイチャーゲームは、午前11時～、午後1時30分～の2回予定する。⇒内容検討中(中村)
- (5) 販売は、ちょいエコマルシェでの出品物を中心に会及び部会活動資金調達を目的に実施する。⇒販売管理表(平澤)、釣銭準備(石嶋)
- (6) 展示物 ⇒おもしろ理科教室(西郷)、手作りゲームなど(平澤) 他
- (7) 会員へのお誘いメール発出(平澤)、各部会でもグループラインなどで周知する。⇒来場した会員には、特別プレゼント(鈴木画伯の"己書")コミュニケーションの場とする。
- (8) スタッフの軽食は、当日の参加人員を確認し購入する。(手塚)

2. 親子自然観察会(10/28)について

役割分担とタイムスケジュール(案)に基づき説明し意識合わせを行った。(平澤)

- (1) 現時点での参加人員は、子供16人、保護者13人となっているが変更もあり得る。
- (2) 会員の家族参加について、公民館に話をし了解を得た。
- (3) 観察ルートは、ふるさとの森方面の1ルートとするが参加人員を考慮して2班に分けるか検討。
- (4) 各役割分担については、その役割を十分に理解した上で安全且つ有意義な観察会とする。特に、水辺でのサポート隊、安全監視、実施指導担当は、その役割を再度確認する。
- (5) まとめ時間の使い方は、本講座の目的である「自然観察を通じて、身近な自然から多くの発見や驚きを見つける」ということを十分に意識し、「私たちが言葉で伝えることよりも、今日、感じたことを参加者に言葉にしてもらおう」など工夫して有意義な時間とする。具体的には、まとめ担当の中村さんに一任する。
- (6) 水辺採取範囲及び詳細の観察ルートは、現地下見の結果で決定する。(10月26日9時から)

3. 「しもつけ環境フェア」(12/10)について

実施要領に基づき説明し意識合わせを行った。今後具体的に参加内容を検討する。(平澤)

- ・実施場所 下野市役所 ※準備12/9(土)14:00～
- ・イベント 12月10日(日)午前9時30分から午後0時30分まで
- ・展示 12月10日(日)から12月16日(土)午前10時まで

4. その他

- (1) 里山部会でツリークライミング実施(12月)に向けて参加者を募集している。今後、全会員に向けて募集する。(中村)
- (2) おもしろ理科教室(部会)の中村旬さんから「次年度、国分寺公民館の児童保育への出前講座として児童館での理科教室を実施する予定だが、内容や回数などを考慮し各部会の持つ知識や人材で会全体として対応ができないか検討してもらいたい」という提案(書面)があった。⇒今後、さらに詳細内容をお聞きしながら検討していくこととした。
- (3) しもつけ環境市民会議からの支援金2万円の用途について検討する。(平澤) ⇒総会資料、しもつけ自然通信、会紹介小冊子などの印刷
- (4) 会員名簿に所属部会の入った資料があると会員間の交流などに有効ではないか(石嶋) ⇒検討
- (5) 2023.9月末時点で会員数が110名(66家族)となった。(大橋)